

交通事故のない

幸せな社会に



近年、全国的に社会問題になっている高齢ドライバーによる交通事故。後悔しても時間は戻りません。安全で元気に暮らし続けるために何ができるのか、改めて考えてみませんか。

☎生活安心課 ☎(632) 2264

**高齢ドライバーは年々増加
安全運転を考えよう**

高齢化の進展に伴い、今後、高齢ドライバーの増加が見込まれる中、皆さんが安全で元気に暮らしていくためには、ご家族と安全運転などについて一緒に考え、話し合うことが大切です(下の記事「安全運転のためのポイント」参照)。

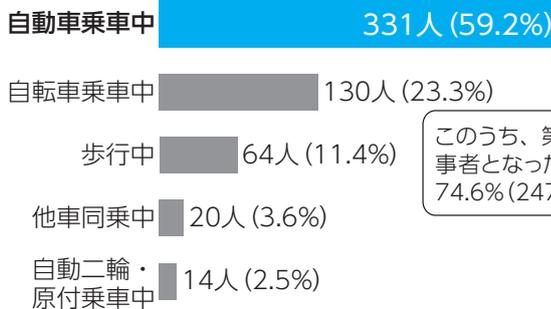
**後悔しないために
できること**

本市や関係機関では、交通安全教育や公共交通の利用促進などを行っています(15ページの記事参照)。交通事故のない社会を目指して、できることから始めてみませんか。

**運転免許証更新制度が
変更になりました**

5月13日から、高齢ドライバーの運転免許証更新制度が変わりました。75歳以上で一定の違反歴のある人は、運転免許更新時に運転技能検査に合格しないと、更新ができなくなりました。詳しくは、県警 [URL1](https://www.pref.tochigi.lg.jp/keisatu/n30/tetuzuki/menkyo/kourei_new.html) をご覧になるか、運転免許センター ☎0289(76)0110 へお問い合わせください。

本市の高齢者が関わった交通事故発生状況 (令和3年、計559人)



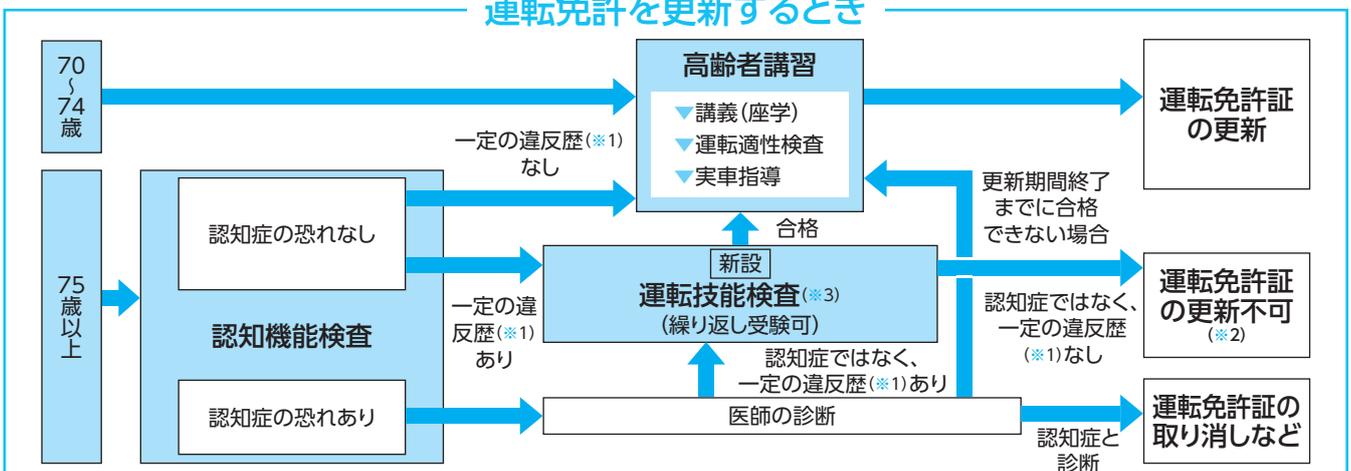
このうち、第一当事者となった人は74.6%(247人)

(資料提供 県警察本部)

安全運転のためのポイント

- 1 一時停止ではしっかり停止
必ず一旦停止し、徐行しながら確認。
- 2 出会い頭に要注意
信号機の無い交差点は特に注意。
- 3 右折は急がず慎重に
陰から出てくるバイクなどにも注意。
- 4 危険発見の妨げになる「考え事」をしない
考え事や脇見運転は「発見の遅れ」に。
- 5 加齢による身体機能の変化に注意
意識的に目や頭を動かしてしっかり確認。

運転免許を更新するとき



※1 一定の違反歴とは、運転免許証の有効期間が満了する直前の誕生日の160日前から過去3年間に基準違反行為をしたことがあること。
 ※2 原付、小特免許は希望により継続することが可能。
 ※3 大特・小特・二輪・原付のみ保有している人は運転技能検査の対象外です。また、高齢者講習時の実車指導が免除されます。

4つのアクション

アクション

1 自分の状態を確認してみる 身体機能測定器体験会

身体機能測定器を使って自分の反応速度を測定します。身体機能の現状を確認してみましょう。

▼日時 8月9日(火)・10日(水)、午前9時～午後4時(所要時間10分程度)。

▼会場 生活安心課(市役所2階D3窓口)。

▼対象 高齢ドライバーなど。運転免許証が無い人も可。



2 安全運転サポート車 に乗り換える サポカーS

「サポカーS」とは、セーフティサポートカーSの略。衝突被害軽減(自動)ブレーキや、ペダル踏み間違い急発進抑制装置などが搭載された、交通事故防止に効果が見込まれる車です。車の買い替えの際は、サポカーSを検討してみたいかがでしょうか。



▲サポカー URL2

3 免許返納を検討する 運転免許証の自主返納制度

運転免許証を返納した人は、手数料1,100円で身分証明書として使用できる「運転経歴証明書」を入手できます。運転経歴証明書を提示すると、各協賛店での割引サービスや、県タクシー協会・県個人タクシー協合組合で運賃の10%が割り引きされます(*4)。協賛店での割引サービスについて、詳しくは、県URL3をご覧ください。

自主返納の手続きについて、詳しくは、県運転免許センター ☎0289(76)0110または各警察署へ。

特集
④

アクション

4 公共交通を利用する

本市では、公共交通をもっと便利に利用してもらうためtotraを活用し、70歳以上の人への外出支援事業として年度1回、運賃1万円相当の「福祉ポイント」を受け取れるサービスや、日中の路線バス1乗車当たりの運賃上限が400円になる「上限運賃制度」を実施しています。

また、9月1日から、郊外部など市内14地区を運行している地域内交通でもICカードが使えるようになり、

☎交通政策課 ☎(632)2132

ID 1006100

ID 1006024

「福祉ポイント」のバスとの併用が可能になる他、totraを使って地域内交通とバスを乗り継ぐと200円が割り引かれる「乗継割引制度」も新たに始まりますので、この機会にぜひ、公共交通をご利用ください。

詳しくは、2・3ページをご覧ください。



出前講座を募集中/

交通安全教室を開催しませんか

ID 1003498

本市では、市民一人ひとりの交通安全意識を高め、悲惨な交通事故を減少させるため、各世代に応じた交通安全教室を行っています。

▼対象 自治会やサークルなどの団体。

▼内容 講話など。高齢者向けには、寸劇や映画、身体機能測定器を活用した体験型教室などを開催。

▼その他 地域イベントの出展依頼も募集しています。詳しくは、市☎をご覧ください。



運転免許証を返納した人にお話を伺いました 運転に自信がなくなり運転免許証を返納

視力の低下がきっかけで、運転に自信がなくなってきた時に、運転免許証を返納しました。宇都宮市でずっと生活してきた私は、これまで、通勤などで30年ほど車を運転していました。免許を返納した当初は、生活に不便を感じていましたが、現在は徒歩、自転車、バスを使って生活しています。

免許返納後はtotraも使って外出

地域活動に10年以上携わり、今でも地域の催しや地域活動で外出の機会があります。晴れた日は徒歩や自転車で移動し、雨の日はバスを利用するなどして出掛けています。また、遠出をしたい際は、市の外出支援事業で配付された、交通系ICカードtotraを使ってバスを利用しています。

歩くことが楽しい ウォーキングが日課に

また、車を運転していた頃は、歩くことがおっくうでしたが、今では歩く機会が増えて足腰が強くなりました。歩くことが楽しく、朝夕のウォーキングが日課となり、1日1万歩以上歩いています。おかげで健康になったと思います。コロナが落ち着いたたら、もっと外出したいです。



70代 女性